

そらこめ通信

No.75 2016年10月号

このたびは弊社の米をお買い上げ頂き誠にありがとうございます。日頃よりご愛顧頂いております皆様にはこの場をお借りして厚くお礼を申し上げます。

8月中旬から月末にかけて北海道を襲ったいくつかの台風による災害は、我々の想像をはるかに超えるものになりました。特に、札幌市など道央圏と、十勝・釧路地方を結ぶ大動脈のひとつ国道274号線の日勝峠では、道路が地盤ごと谷側に大きく抉れた箇所が何カ所もあるようで、今更ながら自然がもたらす破壊力のすごさに驚嘆しております。これら被災状況については、空撮等によりある程度明らかになってはいるものの、被災現場まで車で行くことができず、数名による自転車と徒歩での調査になっているようで、峠の距離が長いこともあり、いまだ被害の全容が掴めておりません。仮復旧は来年度中に…との上層部からの指示に、役所側も困惑しているようです。今回は、想定をはるかに超える大雨がもたらした災害ではありませんが、これが現実起きたのだとすれば、次に道路を造る際には、今以上の設計強度が必要という話にもなり、ルート選定を含む抜本的な設計の見直しについても今後議論されるのではないかと思います。いずれにせよ、様々な課題を我々にもたらした台風災害となりました。

9月19日(月)から稲刈り作業が始まりました。昨年の開始日より3日ほど早いスタートです。今のところ、天候も味方して作業は順調に進んでおります。このまま、トラブルなく進めば、10月5日頃には収穫作業を終えられるのではないかと考えております。農家の仕事は自然との知恵比べと言います。言い換えれば自然をいなす知恵であり、受け流すしなやかな力です。真っ向勝負で勝ち目がないことは、先の災害でも実証済み。自然とどう折り合いをつけるかが大事なポイントなのかも知れません。



外部委託によるソバの収穫(8月30日)



収穫されたソバの実(8月30日)



収量調査用に刈り取られた籾(9月13日)



稲刈り開始(9月19日)～コンバインによる収穫と機械の進入路確保の為の手刈り作業



収穫された籾をトラックに積込む(9月19日)



収穫された籾は倉庫に運ばれた後、乾燥機と直結したピットへ投入(9月19日)



順調に稲刈りが進んでいます(9月21日)



出荷の準備～JA出荷用のゲージの組立てと、完成したゲージの移動(9月21日)



収穫済みの圃場では来春に向け溝掘り作業(心土破碎)が進む(9月21日)



自然乾燥される「ゆきさやか」の種もみ



北見市を訪問したときにおじゃました焼肉屋「香風園」さん～数年前より弊社の「ゆめびりか」を使って頂いています(9月15日) グループ会社の仕事の関係で、9月15日に一泊で北見市に行ってまいりました。北見市で宿泊する際には、ついでにネオン街にも何度か足を運んでおります(笑)北見市の繁華街に行くと、お寿司屋さんや焼肉屋さんの看板がやたら目につきます。その数ある焼肉屋さんの中で超人気なのが今回おじゃました「香風園」さん。炭火で焼いて頂くお肉はどれも絶品です。このお店では数年前より弊社の「ゆめびりか」を使って頂いています。皆さんも北見市に行く機会があればぜひ訪ねてみてください。味は保証します(笑)

(株)空知こめ工房 ホームページ
<http://www.sorachi-kome.jp/>
 ブログ「生産日誌」更新中です

インターネットで美味しいお米!